

publicity magazine
by Chiba Federation of Small Business Associations
chushokigyo-chiba

中小企業の経営革新と連携組織の活性化を応援する県単情報誌

中小企業ちば



安房鴨川駅（鴨川市）

photo by T.Funatogawa

Contents 【主な内容】

- 年頭所感 p 3 本会会長/千葉県知事/全国中央会会长/商工中金千葉支店長
- 事務局訪問 p 7 小湊妙の浦遊覧船（協業）
- 視 点 p 8 信用力のある決算書をあなたの武器に
- 協賛広告 p 10 “謹賀新年”
- 景 況 p 14 情報連絡員報告
- トピックス p 15 官公需問題懇談会、組合士視察研修

2006

1

100yen



千葉県中小企業団体中央会

URL:<http://www.chuokai-chiba.or.jp>

年頭所感

千葉県中小企業団体中央会 会長

坂戸 誠一



平成18年の新春を迎えるにあたり、
謹んでご挨拶を申し上げます。

昨年のわが国経済は、大企業等を中心着実な景気回復が続くなが、企業収益に改善が見え、在庫調整も

一段と進み、設備投資も底堅く推移し、加えて、個人消費に改善の動きが見られるなど、回復基調を辿りました。一方、原油価格の上昇や原材料の高騰など、不透明な不安要因を払拭できず先行き楽観できない状況が続きました。

今後とも、この使命を全うしていくためには、以前にも増して高付加価値を生み出す企業体質に転換が急がれるところです。

しかしながら、こうした課題に、個々の企業が単独で取り組むことは容易なことではなく、組合等を中心とした多様な連携組織のネットワークを最大限に活用し、異なる経営資源を共有し合い、不足する資源を相互補完するなど、連携強化を図ることが有効な方策として再認識されております。

こうしたなか、地域産業の担い手である中小企業を取り巻く環境に眼を転じますと、一部に明るい兆しが見られるものの、急激な構造変化の影響を受けて、地域や業種、規模間において跛行性が強く、多くの企業の統廃合を加速するなど深刻な状況から脱し切れていない情勢にあります。

顧みますと、中小企業は、幾多の大きな経済変動に直面しながらも、機動力や創造性など独自の強みを發揮し、生産活動や雇用創出においても安定した地位を持続し、わが国経済の礎としての役割を果たして参りました。

本会といたましても、やる気と能力のある中小企業の皆様が挑戦する「創業・革新・再生」を支援し、地域経済の活性化を推進する連携組織の支援機関として、引き続き中核的な役割を果たせるよう全力を傾けてまいりたいと決意を新たにしているところであります。

会員各位におかれましては、従来の枠組みを超えた発想の下に組織基盤を強化され、ますます飛躍発展を遂げられますとともに、新年が皆様方にとりましてより良い年となりますことを心からご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

新年を迎え、中小企業も実感できる一日も早い本格的な景気回復が望まれる所であります。

わが国が豊かな安全で安心できる社会を構築していくために、日本経済の屋台骨である中小企業の活性化が重要であり、そのためには環境変化に即応できる強靭な経営体质を備えた中小企業の育成が不可欠であります。

新年来、中小企業も実感できる一日も早い本格的な景気回復が望まれる所であります。

生活の向上を支えるため、観光立県の実現や産業振興をはじめ環境改善、健康福祉、NPOとの協働など、さまざまな分野で積極的に取り組んでおります。また、つくばエクスプレスの開業や首都圏中央連絡自動車道の整備進展、成田空港へのアクセス強化や成田新高速鉄道の整備を着実に進展させるなど、更なる県勢の発展が期待されます。

翻つて本県では、県民参加の県政運営を基本に、活き活きとした県民

生活の向上を支えるため、観光立県の実現や産業振興をはじめ環境改善、健康福祉、NPOとの協働など、さまざまな分野で積極的に取り組んでおります。また、つくばエクスプレスの開業や首都圏中央連絡自動車道の整備進展、成田空港へのアクセス強化や成田新高速鉄道の整備を着実に進展させるなど、更なる県勢の発展が期待されます。

翻つて本県では、県民参加の県政運営を基本に、活き活きとした県民

年頭所感

千葉県 知事

堂本 晓子



新年あけましておめでとうござい
ます。

県民の皆様には、希望あふれるさ
わやかな新春をお迎えのことと存じ
ます。

今年は戌年。犬は古くから、人を
守り、私たちを癒してくれる存在で
した。このすばらしい関係は、とも
に信頼しあっているからこそ築かれ
てきているものと思います。

よりよい地域社会もお互いを信頼
し、支えあうことで実現していきま
す。このような地域で、誰もが仲良
く、いきいきと暮らせる1年である
よう願っています。

本年は、千葉県にとつても大きく
飛躍していくべき年です。

それは、600万の県民、豊かな
自然、多様な産業、知的生産力、広
大な県土など多様な財産を活かし、
県民や企業、NPO等と協働して、
様々な分野に果敢に挑戦できる条件
が整つてきているからです。

この大きな飛躍を現実のものとし
ていくために、リーディング産業の
創出・育成や中小企業の振興、日本
一の安心農林水産物「千葉ブランド」
の確立、さらには観光の振興に努め、
本県経済の活性化に取り組みます。

また、すべての人が暮らしやすい
地域社会を築いていくためには、県
民一人ひとりが尊重されなければな
りません。そこで、全国初の「障害
者差別をなくすための条例（仮称）」
の制定などを通じ、①誰もが、②あ
りのままに・その人らしく、③地域
で暮すことができる「新たな地域福
祉像」の実現を目指します。

ところで昨年は、千葉県にとつて
は、良いことがたくさんあつた年で
もありました。夏には、千葉県初の
高校総体「2005千葉きらめき総
体」が開催され、そして秋には、31
年ぶりに、千葉ロッテマリーンズが、
プロ野球日本一、さらにはアジア

チャンピオンになり、県民に大きな
元気と明るさを与え、千葉のイメー
ジアップにも大変貢献してくれまし
た。

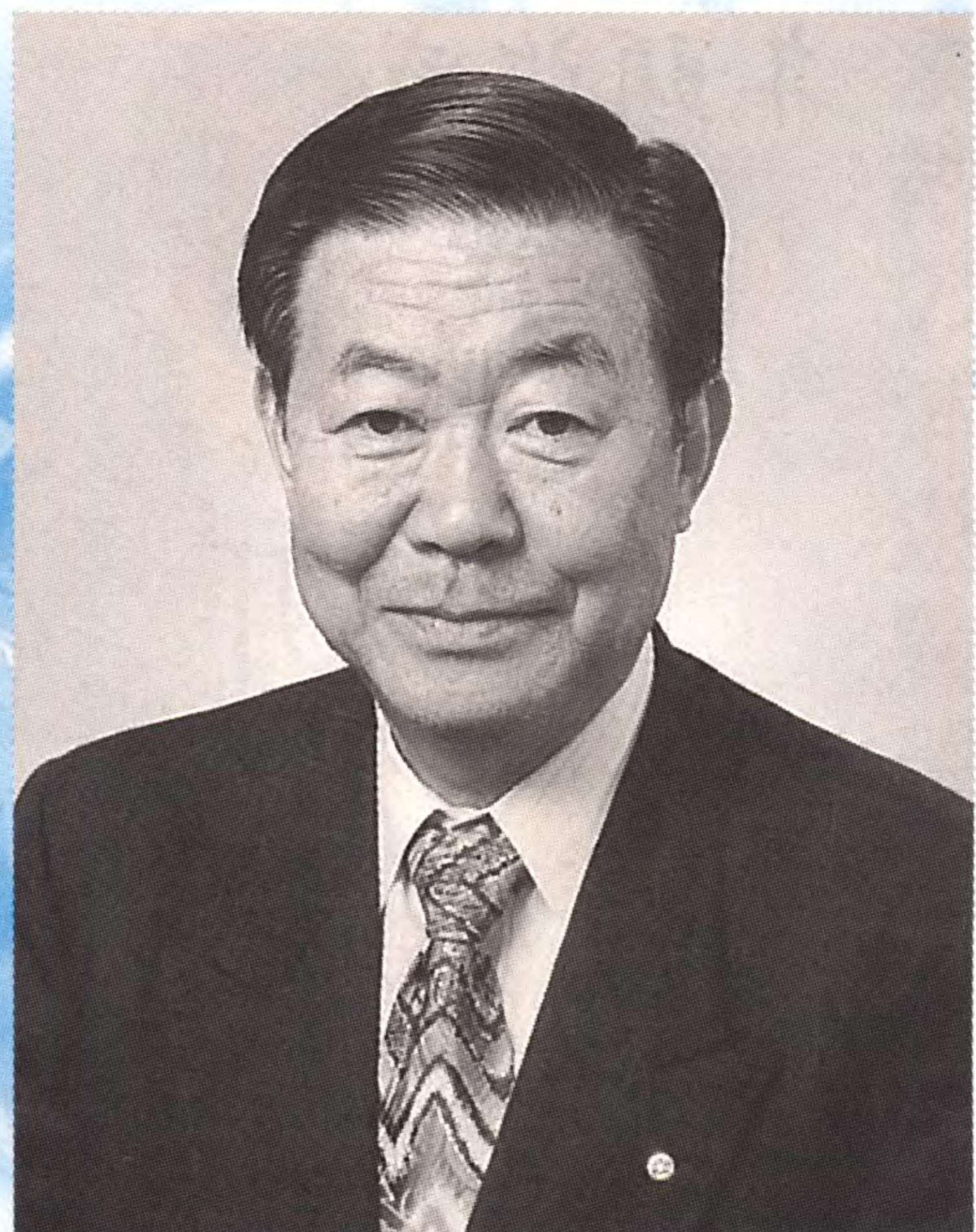
本年も、県民の皆様にとつて、ま
た県にとつて、良いことがたくさん
ある1年であることを願っています。
そして、県民一人ひとりが、豊か
さを実感し、夢と希望、自信と誇り
が持てる千葉県づくりを、600万
県民の皆さんと進めていきたいと思
います。



年頭所感

全国中小企業団体中央会 会長

佐伯 昭雄



特に、地域中小企業に大きな不安を
政策金融改革により商工中金の完全
民営化の基本方針が決定されるなど、
連携組織がリーダーシップを発揮し、

そのような中、三位一体改革により平成18年度より中小企業関係の都道府県向け国庫補助金廃止と都道府県への税源移譲が決定され、また、政策金融改革により商工中金の完全民営化の基本方針が決定されるなど、
連携組織がリーダーシップを発揮し、

明けましておめでとうございます。
平成18年の年頭に当たり、全国の中
小企業の皆様並びに中小企業組合等
中小企業団体の皆様に謹んで新年の
ご挨拶を申し上げます。

顧みますと、昨年の我が国経済は、
全体としては明るさが見えてきたと言
われたものの、原油価格の高騰や
海外経済の動向など、先行き不安定
要因を抱え、長期にわたるデフレの
影響等により、地域中小企業をめぐ
る経営環境は依然として厳しい状況
下で推移いたしました。

例えば、国を挙げて世界最高水準
の科学技術創造立国の実現、とりわけ、
産学官連携の強化が重要課題と
される中、これを広汎に推進していく
ためには、より多くの中小企業が
大学・研究機関や地元の自治体との
連携を大きく進めていく必要があり、
その際、中小企業組合を連携の中核
に位置づけることが極めて有効であ
ります。

また、我が国の製造業の国際競争
力を支えているまさに国の礎である
中小製造業（サポーティング・イン
ダストリー）に対する新たな総合的
支援施策の展開が期待されるところ
であり、その際、中小企業組合等の

このような状況下、今まさに、中
小企業組合等中小企業団体が果たす
べき役割に対する期待はますます大
きくなっています。

全国中央会は、中小企業組合運動
の中核的組織体として、四十七都道
府県中央会とともに、全国四万を数
える中小企業組合等中小企業団体と
一層連携を深め、中小企業の皆様の
ご期待に応えるため、その先頭に
立つて全力を傾注して参る所存であ
ります。

中小企業組合等中小企業団体の皆
様におかれましても、中小企業の發
展のため共に力強く邁進いただきま
すようお願いいたしますとともに、
本年が皆様にとって明るい年となり
ますよう心からご祈念申し上げ、年
頭に当たつてのご挨拶といたします。

与える状況が現出するなど、依然と
して先行きが見えない極めて厳しい
状況のまま新年を迎えることとなり
ました。

一日も早く景気回復の効果が広く
我が国全体に及ぼされ、中小企業が
元気を出して頑張れるような政策展
開が何よりも求められており、また、
全国の中小企業がどの地域において
も政策支援が受けられるよう万全の
措置が採られることが必要不可欠で
あります。

この状況下、今まさに、中
小企業組合等中小企業団体が果たす
べき役割に対する期待はますます大
きくなっています。

全国中央会は、中小企業組合運動
の中核的組織体として、四十七都道
府県中央会とともに、全国四万を数
える中小企業組合等中小企業団体と
一層連携を深め、中小企業の皆様の
ご期待に応えるため、その先頭に
立つて全力を傾注して参る所存であ
ります。

中小企業組合等中小企業団体の皆
様におかれましても、中小企業の發
展のため共に力強く邁進いただきま
すようお願いいたしますとともに、
本年が皆様にとって明るい年となり
ますよう心からご祈念申し上げ、年
頭に当たつてのご挨拶といたします。

積極的に役割を果たしていくべきで
あると考えております。

さらに、自然災害などの不測の事
態が発生した場合の事業の継続性・
早期復旧を担保するための「事業繼
続計画（BCP）」策定の必要性が叫
ばれておりますが、相互扶助の精神
に基づく中小企業組合こそこれを
担っていく組織としてふさわしく、
今後の積極的な取組みが期待されて
おります。

今年こそ、日夜懸命な経営努力を
続けていた中小企業が報われ、希望
の光が燐々と差し込む年としたいも
のであります。

全国中央会は、中小企業組合運動
の中核的組織体として、四十七都道
府県中央会とともに、全国四万を数
える中小企業組合等中小企業団体と
一層連携を深め、中小企業の皆様の
ご期待に応えるため、その先頭に
立つて全力を傾注して参る所存であ
ります。

中小企業組合等中小企業団体の皆
様におかれましても、中小企業の發
展のため共に力強く邁進いただきま
すようお願いいたしますとともに、
本年が皆様にとって明るい年となり
ますよう心からご祈念申し上げ、年
頭に当たつてのご挨拶といたします。

年頭所感

商工中金千葉支店 支店長

松井 源治



素材価格の行方等リスク要因を抱えつつも、海外経済はおおむね堅調な推移が見込まれ、総じて企業部門の収益力が高まっていることなどから、我が国経済も緩やかな回復が続くものと思われます。

さて、平成18年の新春を迎えるにあたり、所感の一端を申し述べて年頭のご挨拶とさせていただきます。

まず、昨年のわが国経済を振り返りますと、年初から一進一退の状況が続きましたが、年央以降輸出が増勢に転じ、設備投資も堅調に推移するなど、景気は緩やかに回復を続けました。そうした動きは雇用や所得の改善を通じ個人消費にも及びました。デフレも徐々に解消に向かい、先行きに対する明るい見方が広がりました。一方で、原油をはじめとする素材価格の高騰が経済に与える悪影響が懸念されました。

今年の経済情勢を展望しますと、素材価格の行方等リスク要因を抱えつつも、海外経済はおおむね堅調な推移が見込まれ、総じて企業部門の収益力が高まっていることなどから、我が国経済も緩やかな回復が続くものと思われます。

そうしたなか、中小企業の景況感についても昨年夏場以降持ち直したものとの、改善の度合いは大企業に比べて緩やかで、地域や業種によるバラツキも目立つており、未だ景気回復を全面的に実感できる状況に至っておりません。

このような環境下、商工中金は、我が国的重要な政策課題となつてゐる「地域再生・活性化への貢献」や、経済環境の変化により一時的に資金繰りに困難を来たしている中小企業の皆さまへの安定的な資金供給を行なう「セーフティネット機能の発揮」に加え、CLO（ローン担保証券）、売掛債権流動化、動産公示制度を活用したABL（流動資産一体担保型融資）など中小企業の皆さまの資金調達多様化の支援を行なう「金融フロンティアの開拓」などの政策的役割を積極的に果たし、中小企業がその企業価値を高め、持続的に成長することを支援してまいりました。

次に、昨年議論された政策金融改革につきまして、述べさせていただきます。

年にあたり、皆さまのご繁栄とご健勝をお祈りいたしましてご挨拶といたします。

本方針」が経済財政諮問会議において決定され、商工中金につきましては、財務基盤整備等のための移行措置が講じられた上で完全民営化するの方針が示されました。

これまでの政策金融改革に関する議論の過程におきましては、出資者、お取引先、中小企業関係団体の皆さまを始め、多数の方々より絶大なるご支援を賜りましたことを、まずもつて、心より感謝申し上げます。

今後、政府において基本方針に沿った詳細な制度設計が行なわれ、具体的な移行措置が講じられた上で、平成20年度から新たな経営形態になる予定です。

商工中金としては、これからも中小企業組合と中小企業の皆さまの成長発展を支援するとともに、お取引いただいている皆さまから、より信頼される金融機関を目指して、役職員一同決意を新たに取り組んでまいりますので、今後とも、格別のご指導とお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

小湊妙の浦遊覧船協業組合

理事長 森井 武義



皇后両陛下と皇太子様が、昭和48年には昭和天皇が訪れている。

当組合は、鯛見物の旅客の海上運送を主たる事業として、昭和29年12月に企業組合として設立。昭

和30年2月には旅客定期航路事業の免許を受け、昭和47年7月には鯛の浦会館の建設を機に、鯛の保護育成と観光客の誘致をさらに積極的に推進するため協業組合に組織変更し、現在は3隻の遊覧船を所有している。

【森井理事長の横顔】

森井理事長は地元の伊勢屋旅館のご主人。奥様と二人で客室11室の旅館を切り盛りしている。昭和

53年には小湊旅館業協同組合の法人化に尽力。昭和56年から昨年まで理事として観光客の積極的な誘致と業者間の連携、関係行政との調整に取り組み、昨年、本会の創立50周年記念式典では千葉県知事表彰を受章した。

また、平成7年からは小湊妙の浦遊覧船協業組合の理事長に就任。漁協、旅館組合、観光協会などの関係機関とのパイプ役を果たすと共に、地元発展のために尽力している。最盛期には年間50万人

本來マダイは深海性で群れをなさない習性をもつてゐるといわれ、鯛の浦で起こるこのような現象は未だに科学的に解明されていない。昭和39年には、天皇



左から廣瀬事務局長、森井理事長、後藤事務局員

～神秘が宿る、姿を現す、不思議な海へ～

所在地	鴨川市小湊183~8
設立	昭和29年12月
代表理事	森井 武義
組合員数	271名 (出資金4.336万円)
主な事業	鯛の浦「タイ」の管理と保護 観光遊覧船の運航 鯛の浦会館の運営

あつた乗船客も今年度は13万人程度だろうとのこと。理事長としては鯛の浦が良くなることが一番、これからも観光客の誘致と船の安全運行を何よりも優先して組合運営に当たり、今後の課題としては、少しでも良い船を作つて後の人達に引き継いでいきたいとのことで、森井理事長さんは昭和10年1月、安房郡小湊町（現鴨川市）生まれで、現在は奥様と長男ご夫婦とお孫さん2人の6人家族。趣味は船を持つほどの釣りが好きだったのですが、今はゴルフだそうです。



誕生寺仁王門



鯛の浦会館

コンサルタントの三

信用力のある決算書 をあなたの武器に

平成16年度から（独）中小企業基盤整備機構は「経営者の実践講座（経営力を強化するための会計）」を全国の会議所・商工会を通じて開催しています。筆者は昨年、当講座の講師を担当する機会がありましたので、その内容の一端を紹介します。

■「中小企業の会計」とは

「中小企業の会計」は、中小企業自らのためにあるものです。この「中小企業の会計」に関しては、「中小企業の会計に関する指針」では次のように記載されています。

①本指針は、中小企業が、計算書類の作成に当たり、拵るところが望ましい会計処理や注記等を示すものである。

②このため、中小企業は、本指針に拵り計算書類を作成することが推奨される。とりわけ、会社法施行後における会計参与設置会社が計算書類を作成する際には、本指針によることが適当である。

■財務会計の構造を知る

利益と資金の関係が基本：「勘定合つて錢足らず」儲かってもお金が

中小企業の願いは、自社の経営を見極めたい。金融機関の信用を勝ち取るためには、取引先の信用を勝ち取るためには、信用力を強化するための会計）」を

たい。という思いがあり、信用を勝ち取るためにには、信用力のある決算書が必要となります。一方、会計処理について中小企業の不安としては、

大会社を念頭に置いた会計基準はどんどん複雑化していて、中小企業には戸惑いがあり、中小企業における会計のルールが不明確だと思っています。

そのため、「商法上の計算書類（決算書）を作成するに際し、中小企業にふさわしく、また、過重な負担とならないものとして『中小企業の会計』として明らかにした」。も

【貸借対照表】

貸借対照表は、会社の期末における財政状態（資産・負債・資本の状態）を示す決算書です。貸借対照表は、左側（借方）が財産（現預金、売掛金、在庫等）、右側（貸方）が借金（買掛金、借入金等）と元手

買掛金があります。つまり信用を前提とした商売をしています。しかし、見極めたい。金融機関の信用を勝ち取るためにには、取引先の信用を勝ち取るためにには、信用力を強化するための会計）」を

たい。という思いがあり、信用を勝ち取るためにには、信用力のある決算書が必要となります。一方、会計処理について中小企業の不安としては、大会社を念頭に置いた会計基準はどんどん複雑化していて、中小企業には戸惑いがあり、中小企業における会計のルールが不明確だと思っています。

つまり、儲かつたということと（損益計算書）、資産の運用と調達（貸借対照表）の混同から利益（儲け）と資金（お金）の不一致が生じます。この2つを分けて考えることが大切になります。そういう意味でも決算書（貸借対照表、損益計算書）はよく理解しておく必要があります。

損益計算書は、会社の1会計年度における経営成績を示す決算書で、いわば企業における通信簿のようなものです。会社の経営成績を収益（かせぎ）と費用（コスト）を対比して、その差額として利益（儲け）を示すもので、道具（資産）をどのように効率よく運用し、経営に活かすことができたかをあらわしています。

【損益計算書】

損益計算書は、会社の1会計年度における経営成績を示す決算書で、いわば企業における通信簿のようなものです。会社の経営成績を収益（かせぎ）と費用（コスト）を対比して、その差額として利益（儲け）を示すもので、道具（資産）をどのように効率よく運用し、経営に活かすことができたかをあらわしています。

■CF計算書

キヤツシユ・フロー計算書とは、「儲かつて増えたお金がどこへいったのかの一覧表」または「損をして減ったお金を補充するために、どこからお金をもつてきたのかの一覧

ない理由

すべての取引が現金決済で行われていれば、利益（儲け）＝資金（お金）が成立します。ところが実際の

買掛金があります。つまり信用を前提出とした商売をしています。しかし、

道具を手に入れる方法は2つあります。1つは自分で調達することです。この部分が「自己資本＝元手」です。もう一つの方法が借金をして調達する方法です。この部分が「負債＝借

金」です。

道具はただでは手に入りません。道具を手に入れる方法は2つあります。1つは自分で調達することです。この部分が「自己資本＝元手」です。もう一つの方法が借金をして調達する方法です。この部分が「負債＝借

金」です。

道具はただでは手に入りません。道具を手に入れる方法は2つあります。1つは自分で調達することです。この部分が「自己資本＝元手」です。もう一つの方法が借金をして調達する方法です。この部分が「負債＝借

高津 実 （協）千葉県鐵骨工業会 代表理事	古橋 久 千葉県異業種交流融合化 協議会 会長	春川 紀雄 千葉県建設業協同組合連合会 代表理事	石村 則忠 千葉県製麵工業（協） 代表理事	積田 担 千葉県共同店舗協議会 会長	関東自動車共済（協） 理事長
渋谷 俊夫 千葉県牛乳商業組合 代表理事	大野 隆紹 千葉県商店街振興組合連合会 理事長	鹿島 清太郎 千葉県建設防水工事業（協） 代表理事	佐藤 一郎 千葉県石油（協） 代表理事	飯田 敦一 千葉県醤油工業（協） 代表理事	
丸島 富夫 千葉県自転車軽自動車（協） 代表理事	岡村 聰 千葉県産業廃棄物処理業（協） 代表理事	安藤 積勇 千葉県石油（協） 代表理事	荒金 英一 千葉県塗装工業（協） 理事長		
岡田 隆治 千葉化学工業薬品（協） 代表理事	好地 宏 （協）千葉電設協会 代表理事	鹿島 新一郎 受注促進協議会 会長	齋藤 博 千葉県電機商業組合 代表理事		
藤田 秀一郎 千葉工フロー（協） 代表理事					

千葉県農業機械商業（協） 代表理事 今田 義夫	千葉市宅地建物取引業（協） 代表理事 小関 邦夫	千葉市工業センター（協） 代表理事 山中 操	千葉市印刷工業組合 代表理事 大野 一郎	千葉県印刷工業組合 代表理事 榎原 行夫
千葉市台帳測量（協） 代表理事 牧野 功	千葉県鮮魚商協同組合連合会 代表理事 林 政和	千葉市街地開発コンサルタント（協） 代表理事 嶋田 俊明	千葉トヨタ自動車販売整備（協） 代表理事 麻生 茂	千葉総合卸商業団地（協） 代表理事 市川 直樹
千葉船業（協） 代表理事 成尾 光行	千葉発泡スチロール再資源化（協） 代表理事 高橋 静雄	千葉県板硝子商工（協） 代表理事 小西 鋼一	（協）千葉個人タクシー事業団 代表理事 中台 健治	千葉鉄工業団地（協） 代表理事 坂戸 誠一
千葉県中古自動車販売 商工組合 代表理事 藤井 芳夫	千葉県貿易（協） 理事長 本田 始	千葉県自動車販売店協会 会長 勝又 基夫	（協）シード・ソフトウェア 代表理事 金子 哲司	千葉青果商業（協） 代表理事

皆川 泰藏 <small>船橋総合卸商業団地（協） 代表理事</small>	板谷 直正 <small>船橋機械金属工業（協） 代表理事</small>	松浦 重雅 <small>千葉学習塾（協） 代表理事</small>	岡田 知之助 <small>千葉県漬物工業（協） 代表理事</small>	藤沼 龍雄 <small>千葉県漬物工業（協） 代表理事</small>
鈴木 重夫 <small>（協）佐原信販 代表理事</small>	小林 明雄 <small>（協）野田ショッピングセンター 代表理事</small>	斎藤 剛一 <small>金田魚介類仲販（協） 代表理事</small>	古宮 真一 <small>印旛食肉センター事業（協） 理事長</small>	常泉 健一 <small>長生都市管工事（協） 代表理事</small>
加藤 洋三 <small>山武管工事業（協） 代表理事</small>	菊地 辰夫 <small>志津商業（協） 代表理事</small>	野口 恭義 <small>臼井ショッピングセンター（協） 代表理事</small>	小川 進 <small>印旛食肉センター事業（協） 理事長</small>	中村 秀朗 <small>（協）東金ショッピングセンター 代表理事</small>
山下 勉 <small>松戸ビル管理業（協） 代表理事</small>	坂口 正明 <small>東葛金属プレス加工業（協） 代表理事</small>	鈴木 寿郎 <small>東金市ガス工事業（協） 代表理事</small>	吉岡 實 <small>千葉県木材市場（協） 代表理事</small>	

柏駅前第一商業（協） 代表理事	三好 迪夫	若井 健治	市原市造園緑化（協） 代表理事
柏市管工事（協） 理事長	竹内 政二	石川 孝幸	（協）シード・ティー・ティー 代表理事
柏市工業団地（協） 代表理事	井上 廣里	島田 宏明	送変電機器千葉（協） 代表理事
千葉県鍛金工業組合 代表理事	柴崎 三郎	高橋 啓治	浦安貝類加工（協） 代表理事
流山トラック事業（協） 代表理事	戸張 利泰	高橋 啓治	浦安建設（協） 代表理事
浦安ショッピングセンター（協） 代表理事	野平 憲司	渡邊 英夫	鹿野新一郎
小湊旅館業（協） 代表理事	稻葉 靖	土屋 利夫	並木 聰
大原中央商店街（協） 代表理事			（協）酒々井ショッピングセンター 代表理事
			四街道工業団地（協） 代表理事
			清水 敬陽
			加藤 辰義
			千葉県保険流通（協） 代表理事
			醍醐 辰雄
			浦安市リサイクル資源（協） 代表理事

本会は昨年12月2日千葉市内において、第1回官公需問題懇談会を開催した。はじめに千葉県総務部総務課行政管理推進室の石井主査が「千葉県における指定管理者制度の取組み状況」について、東京の練馬建物総合管理（協）の小笠原事務局長が「指定管理者制度の活用と今後の展開」についての基調講演があり、つづいて指定管理者制度を活用した受注確保策について懇談した。



なお、指定管理者とは、地方自治法の一部改正により、平成15年9月2日より、公の施設の管理委託制度が廃止され、施設管理民間の能力を活用しつつ、住民サービスの向上を図るとともに、経費の削減等を図ることを目的に、NPO団体、民間事業者等を含めた地方公共団体が指定する法人その他他の団体に、施設の管理運営を行なわせる制度。

また、官公需の契約方針については、本誌9月号、官公需施策と官公需適格組合については本誌先月号をご覧下さい。

組合士会視察研修 経営革新研究会

千葉県中小企業組合士会は12月7日視察研修会を開催した。

視察先は昨年4月千葉市内にオープンした「ハーバーシティ蘇我」。ここは60万坪にも及ぶ旧川崎製鉄千葉製鉄所跡地の再開発計画のうちの商業・エンターテイメントエリア。

ハーバーシティ蘇我は「ホームセンターとインテリアのホームズエリア」、「イトーヨーカドーエリア」、「イトーヨーカドー

ア」、「アミューズメント、シネマコンプレックス、房総市場などを複合させたフェスティバル・ウオークエリア」の3つの街区からなり、今回は株島忠の広報担当者の案内でホームズエリアを中心に視察した。

その後会場を移して同じ組合士会のメンバーで、関連テーマによる「経営革新研究会」を開催。中

小企業診断士の脇山先生による「地域再生時代を生きる組合活動の新展開」と題する講演があった。

その後、さらに会場を移して交流懇親会も開かれた。

65歳継続雇用普及説明会

本会は(社)千葉県雇用開発協会と

共催で12月8日千葉市内で65歳継続雇用普及説明会を開催した。

内容は①千葉労働局秋葉職業対策課長の「高年齢者雇用安定法」の改正内容について、②日本人事

プランニング(株)友光代表取締役の

「高年齢者雇用を取り巻く環境の変化と企業の対応」について、③明

正工業(株)人見取締役会長の「高年

齢者を活用した企業の活性化」について、④労働時間短縮支援セン

ターの福留金造氏の「労働時間制度の改善と企業の活性化」について説明があった。

本会の主要行事予定

【新春賀詞交換会】

1月19日（木）15時
ポートプラザちば

【正副会長会議】

3月10日（金）16時
ポートプラザちば

【理事会（予算）】

3月23日（木）14時
ポートプラザちば

【監事会】

5月8日（月）14時
本会会議室

【正副会長会議】

5月19日（金）16時
ポートプラザちば

【理事会（決算）】

5月26日（金）13時30分
ポートプラザちば

【通常総会】

5月26日（金）14時30分
ポートプラザちば

【専門委員会】

6月23日（金）14時
ポートプラザちば

□表紙のメモ【安房鴨川駅】

内房線と外房線のそれぞれの終着駅。したがってここから出る列車は全

て上りということになる。線路はつながっているものの、現在は房総半島を一周する列車は運行されていない。

鴨川市は房総半島の先端に近い太平洋にあるリゾート地。昭和46年3月に安房郡鴨川町、長狭町、江見町が合併して市制施行。昨年の2月には天津小湊町を合併して人口3万7000人。

編 集 後 記

from the editor

新年明けましておめでとうございます。大企業を中心に景気は底入れしたといわれておりますが、日本経済の屋台骨であり、豊かな地域社会の担い手である中小企業が今年こそ真に活性化することが期待されております。

本誌はこれからも連携組織の活性化に役立つ情報を掲載していくので宜しくお願い致します。

E-mail:
funatogawa@chuokai-chiba.or.jp